

アミーゴ通信



2018年2月 冬号

2

発行日：2018年2月26日

発行者：永井昌史

2017年12月3日 ひばりが丘児童センター センターまつり

特集
アミーゴの
学童クラブの魅力
[3~4ページ]

平成29年12月3日（日）に「センターまつり」を開催しました。

地域を巻き込んだ年に一度のおまつりということで、当日は来場者688名、子ども実行委員56名、大人実行委員29名、ステージ出演者29名、合計802名と多くの方々に参加していただきました。



児童センターマスコット
「はっぴーちゃん」

開会式のようす

実行委員が前に出て
お店の紹介をしています。
これだけの皆さんを前にしても、
子どもたちは堂々としていました!



ラウンジのようす



中高生によるポップコーン。
中原小学校PTAによるわたあめのブースに
沢山のお客さんが並びました。



中原小 父親(おやじ)の会のみなさんによる
ボリュームたっぷりのホットドックに
かぶりつく子がたくさん!!

センターまつり



「センターまつり」は、ひばりが丘児童センターが2011年にリニューアルオープンしてから毎年実施しているイベントで、今年で7回目を迎えました。

小中高生によるゲームのお店や、地域の大人たちによる食べ物のお店を、センターまつりだけで使える通貨「はっぴー」を使って楽しむという、大きな「お店やさんごっこ」の雰囲気でおこないました。事前におまつりのお手伝いをしてくれた子どもたちは、手伝った分だけ追加で「はっぴー」をもらえるという、ちょっとした社会体験の要素を含んでいるのも特徴の一つです。



ゲームコーナーのようす

子ども実行委員が自分たちでアイデアを出し合いながら、お店を企画・運営しました。どうしたらお客さんがたくさん来るか、どうしたらみんなが楽しめるか、真剣に考えながら準備をして当日を迎えました。



ベビー喫茶のようす

児童センターは乳幼児さんの利用もたくさんあります。小さなお子さんでも安心してくつろげる喫茶スペースを作りました。

小学4年生以上が対象となる実行委員は企画・準備・当日運営とすべて自分たちでおこないます。大変なこともあります。おまつりを無事に終えた達成感や充実感に加え、子どもたち一人ひとりの一回り成長した姿が見られます。

「センターまつり」は、青少年育成会や地域の小学校の保護者の皆さん、児童・民生委員の方々など多くの地域の大人と、沢山の子どもたちが関わります。文字通り「子どもを中心としたまちづくり」を目指すイベントとなっています。

大人実行委員会

- ・ひばりが丘児童センター
- ・青少年育成会ひばり
- ・中原小学校父親(おやじ)の会
- ・中原小学校PTA
- ・西東京市民生委員・児童委員

協力していただいた団体

- ・しゅわクラブ「しゅわにゃん」
- ・ほうやおもちゃ図書館

アミーゴのFacebookも
ごらんください！

日頃のアミーゴの活動を発信していきます。みてください。
<https://www.facebook.com/kodomoamigo.nishitokyo/>



特集

アミーゴの学童クラブの魅力

〈北原・向台・向台第二・谷戸・ひばりが丘第一・ひばりが丘第二〉

アミーゴの学童クラブでは遊びや手作りおやつ、保護者の方へ子どもたちの様子を伝えるおたよりを大切に日々の保育をしています。そんなアミーゴの魅力をご紹介します。

あそび



「ちっちのち！」の合図で床に入れます。子ども達はいつも真剣。



おはじきがなくなったら勝ちの、奥が深いゲーム。



一輪車や竹馬をしたり、鬼ごっこで走り回ったり。元気いっぱい。



倒れないか、ドキドキ…



仲間で助け合って相手の陣地から宝を奪います。チームワークが大事！

子どもの「やりたい！」遊びを

身体を動かす、Sケン、カタキ、大学落とし、外遊びのほか、ベーゴマ、マンカラ、ボードゲーム、ごっこ遊びなどの静かな遊び…各施設の流行りや環境によって遊びは異なりますが、アミーゴの学童クラブでは、子ども自身の「やってみたい！」という気持ちを大切に日々の保育をしています。遊びを通してお互いを思いやり、学年を越えてつながり、楽しむ子ども達。

遊びの中で時にはケンカをするときもありますが、子ども自身が「自分もみんなもどうしたら楽しく遊べるのか」を考えられるように指導員は子ども達を見守り、時にはそっと支えています。「子ども達を真ん中に」をいつも大切に、私たち指導員は「子ども達の遊び」を共に楽しみながら過ごしています。

子どものありのままの様子を伝える

おたより



たとえば…
こんなおたよりを
出しています！

アミーゴでは1週間に1枚程度、子ども達の様子を伝えるおたよりを各施設から発行しています。子ども達の遊んでいる姿、友達や指導員とのやりとり、時には上手くいかなくて葛藤する姿など、学童クラブで生活する子ども達のありのままの姿を保護者に伝えることを大切にしています。

4年生が「キックベースやろー！」と声をかけると「ルールを知らないけれどやってみたい」と1年生も集まりました。1年生がボールを蹴ると「こっちこっち！」と言いながら一緒に走ったり「こうやるんだよ」とボールの投げ方を教えてあげたり…4年生の優しさ、1年生も笑顔いっぱいになっていました。

保護者の声

〇〇くんの言葉に思わず笑ってしまい、楽しく読ませて頂きました。

私達が見えない、学童でのドラマを教えてください。おたよりを毎回楽しみにしています！



特集！ アミーゴの学童クラブの魅力

手づくり おやつ

いいにおい～！

肉うどん
おいしー！！



誕生日会の
定番 フルーツ
ケーキ♪

ただいま！！
きょうのおやつなに～！？



中華風雑炊の
できあがり♪



みんな大好き
アミーゴ焼き！



みんな大好き！ 手作りおやつ

おやつは、子どもたちが学童にくる楽しみの一つです。寒い日には温かいおやつにしたり、おやつの時間がホッとできる一時になるよう工夫しています。また、手づくりおやつを指導員と子どもたちが同じ席に座り、一緒に食べながら言葉を交わすことも、子どもの空腹を心身ともに満たす生活の一部として大事にしています。

とある日の出来事…

おやつを作っている匂いが外までしてきたようで「今日のおやつはカレーでしょ！」「カレーライスとカレーうどんどっち？」とおやつ当てゲームをしながら子ども達が帰ってきました。「今日のおやつはカレーライスだよ」と指導員が言うと、「やった一当たった、おやつ楽しみだなー♪」と言いながら、宿題をはじめていました！

保護者の声

学童で食べた焼きそばがおいしかったようで、家でも作ってほしいと言われました。



お味噌汁が最大の苦手だったのですが、学童で食べられるようになったよ！と嬉しそうに帰宅したので、レシピを教えてください。



今回の記事は、すべて現場の職員に書いてもらいました。「センターまつり」は児童センターの職員に、「学童クラブの魅力」は学童指導員にまとめてもらっています。アミーゴの施設の魅力がダイレクトに伝わるといいな！と思っています。

特定非営利活動法人
子どもアミーゴ西東京
<http://www.kodomoamigo.org/>

〒188-0004 西東京市西原町 1-5-13-101
TEL/FAX : 042-478-0056
E-mail : info@kodomoamigo.org